

関西電力と川崎汽船によるCCSバリューチェーン構築に向けた
液化CO₂船の設計等に係る業務委託契約締結

2023年11月14日
関西電力株式会社
川崎汽船株式会社

関西電力株式会社（以下、関西電力）と川崎汽船株式会社（以下、「川崎汽船」）は、両社による覚書に基づき、CCS^{*}バリューチェーン構築に向け、関西電力の火力発電所から排出されるCO₂を対象に、液化CO₂の海上輸送・貯留に関する最適なスキーム等について共同検討を行ってきました。

[\[2023年1月19日お知らせ済み\]](#)

共同検討において液化CO₂輸送に関する初期調査が完了したことから、両社は今般、国内外の造船所における液化CO₂船の設計等に係る事業可能性検討のための業務委託契約を締結しました。CCSバリューチェーンの検討にあたって造船所を含めた具体的な調査・検討を実施するのは、他のCO₂排出事業者に先駆けた取組みです。

今回の業務委託契約に基づき、関西電力が構築を検討するCCSバリューチェーンにおける最適船型の検討および設計等に取り組み、液化CO₂の海上輸送の実現を目指します。

両社は、CCSバリューチェーン構築において重要な部分を担う液化CO₂船の竣工に向けた本格的な調査や検討を通して、ゼロカーボン社会の実現に向けた取組みを加速していきます。

※CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) とは、排ガスからCO₂を回収し、地中等に貯留する技術。

以上

別紙：業務委託契約の概要

本業務委託契約の概要

<目的・概要>

- ・ 液化CO₂の海上輸送の早期実現を目指し、CO₂を分離・回収・貯留した後の工程である「海上輸送」に関して、最適船型や船舶輸送コストおよび必要な技術などの諸課題を整理する。
- ・ 造船所における液化CO₂船の設計等に係る実現可能性調査・検討を実施する。

<本業務委託の対象範囲（イメージ）>

